

少彦名神社 初詣参拝時における新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

1. はじめに

初詣期間中、参拝者、神社関係者から新型コロナウイルス患者を出さずに祭礼を執り行うことを目的に「初詣参拝における新型コロナウイルス感染対策ガイドライン」を策定し、感染防止策を講じる。

2. 境内における感染拡大を予防する為の具体的な対策

①鳥居・参道

・人との接触を避け、対人距離を最低1m確保する事が前提ではあるが、初詣期間の混雑時を考えると、この距離を確保することは困難である事も予想される。参拝客に対してマスクの着用、大声での会話などを控えてもらうなどのお願いをする。また、境内の滞在時間をなるべく少なくする様に誘導する。(1日・2日・3日は警備員を入口付近に配置する)

確認：(1) 参拝者の動線を明示する。(一方通行、停止線の貼り付けなど)

(2) 参拝者の境内滞留時間を減らすため、椅子などは置かない。



②手水舎

・初詣期間中は手水舎の使用を中止する。



③拝殿前

- ・参拝者が使用する「鈴緒」等は、使用出来ないようにする。

確認：（１）前後左右の間隔確保のために、足型などを置き、参拝者間の距離を確保する。

（２）警備員、神職・巫女は参拝者が密にならぬよう適宜お声掛けをする。



④授与所

- ・巫女等職員、関係者は手指消毒を徹底する。
- ・授与所内の換気、アルコール手指消毒薬の設置をする。
- ・授与品の陳列方法、頒布方法の工夫。

確認：（１）「授与所で参拝者と対面する箇所には透明ビニールカーテンを設置することにより、参拝者との間を遮断し、飛沫感染を予防する。

（２）受付、巫女はフェイスシールドを着用する。

- ・不特定多数の者が扱うもの（現金など）に触れた後、持ち場を離れた際はアルコール手指消毒薬を実施する。おみくじや御朱印授与者についても同様に適宜手指消毒を実施する。

⑤祈祷受付（祈祷の受付～昇殿）

《参拝者向け》

- ・発熱や軽度であっても咳・咽頭痛、倦怠感などの症状がある人は昇殿をお控え頂く旨の掲示を行う。
- ・参拝者のマスク着用、手指消毒を徹底する。
- ・社務所や拝殿等に入室の際に手指の消毒を依頼する。
- ・受付方法の工夫。

確認：（１）人数制限を行う。（法人祈祷など団体の昇殿は１組１０名までとする）

（２）受付用紙記入用のペンは使用後に毎回消毒が望ましいが、難しい場合は、アルコール等の手指消毒を設置し、適宜利用する。又はクリップペンなど安価なものに変更し、使い回しをしない。

3. 神社関係者の感染防止対策

- ・社務所各室内の定員は50%を上限とし、常時換気を行いながら行事を執り行う。
- ・マスク、フェイスシールドは常時着用する。手指消毒を頻回に行う。
- ・神社建屋に入館できる者は薬祖講役員、神社職員・手伝い、巫女、祈祷を受ける方、招待者のみとする。
（一般の方の入館はお断りする⇒御手洗使用もお断りし、近隣の御手洗使用可能な場所を案内する。）

以上